

## 2020 年度 アセンブリⅡ プロジェクト申請書

プロジェクト	「子どものためのいのちの教育」を考えるプロジェクト (ハートティーチャー・プロジェクト)
主な活動場所	<input checked="" type="checkbox"/> 学内 <input type="checkbox"/> 病院内 <input checked="" type="checkbox"/> 学外
担当教員	[所属・氏名] 医療科学部・放射線学科 内藤 裕子 保健衛生学部・看護学科 廣瀬 大輔・朝居 朋子
内 容	[プロジェクトの概要] 現代社会では、身近な人の看取りをする経験に乏しく、人が亡くなるとはどういうことかを日々の生活の中で学ぶことは難しい。「いのちを大切に」は当たり前のことであるが、現実の社会ではそうでもなく、児童虐待、動物虐待、若者の自殺などいのちを脅かすようなニュースが日常的に報道されている。子どもたちが、いのちのかけがえのなさや生と死について自ら考え、いのちを大切にすることを実感できるような教育内容や教材を、医療人を目指す学生の視点から考える。また、「医療×教育×地域」という異なる3つの領域が融合する活動を目指す。
	[具体的な活動内容] 小学生（3年生）を対象にして、子どものためのいのちの教育に関する授業案の作成や教材の開発について検討する。豊明市内の小学校で実際に授業を実施する。授業案作成の段階で、教職志望の他学学生との交流を図り、医療職以外との他職種連携の機会を得る。
	[活動に参加することで得られるスキル（チームワーク、主体性）] ① 前に踏み出す力（主体性、働きかけ力、実行力） ② 考え抜く力（課題発見力、計画力、創造力） ③ チームで働く力（発信力、傾聴力、柔軟性、協調性など） ④ プレゼンテーションスキル ⑤ 医療人として社会や領域外の人たちと積極的に関わり合う力
	[受け入れチーム数] ※ 原則6名以内／1チーム  _____ 2 _____ チーム 【プロジェクト全体で _____ 12 _____ 名】
	[活動を予定している時間帯や日付など] 小学校での授業日 2020/10/24（金・学園祭準備の日の午後） 授業の準備は、原則アセンブリⅡの時間割に従う。
[その他]	